

むさしの暮らし

18 「森の市民講座」 in 武蔵野市民の森・自然体験館

二俣尾・武蔵野市民の森・自然体験館

武蔵野市民の森林事業は、東京の森を守るため、平成13年に武蔵野市と東京都農林水産振興財団と山林所有者の三者協定により始まり、森林の公的機能の活用、保全に努めています。

自然体験館は平成18年7月に自然に触れ、本林保全について学ぶ施設として、東京都青梅市二俣尾にオープンしました。今回は大人気のイベント「森の市民講座」におじゃましました。



二俣尾駅 桜の太木が空より添う小さな駅



自然体験館

二俣尾駅からすぐこの辺り標高約24m。素敵な木造の施設です。「森の市民講座」は、テーマを交えて年に5回、ここで実施されています。

市緑のまち推進課・萩野さん
今回は「こけし」の作りと、そのついでに流しです。定員の倍の応募がある人気の講座です。



講座は現地集合で10時半開始。まず「エンジョイフォレスト女性林研」の代表で、山林所有者の福田さんから市民の森林について学びます。



多摩産材の 木肌を活かしています

サトウモロコシは ヘルメット着用で 3班に分かれて 出発!

東京都農林 水産振興財団 佐藤さん

歩いて5分ほどで山道に!!



先ほど福田さんから、杉林の手入れの大切さを学んだので、この杉林は、日当たりの良い手入れされた杉林ということが確認できます。

ヒノキは葉の裏にYの字が並んでいるように見えます。

針のような形をした葉です。

スギは

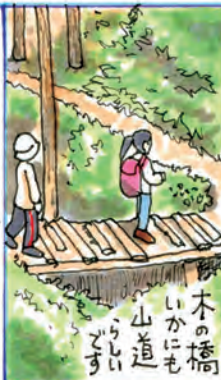
まもなく農林水産振興財団 佐藤さん

無駄にしないよう採るものは3つ種類で、

ツゲ ヤブコウジ

皆さん真剣に地面を見つめて好みの植物を探します。

帰り道は遠うコースで行きよりも急坂ですが、小さな子どももしっかり下りました。



地元の子どもたちがおはなしの木と呼んでいる樹齢三百年くらいの大木



山から戻ると流しそうめんの用意が長〜い!!



別の木の市民講座に参加された方もいっしょに「食事がおいしい」と。今回も地元食材でとりどりなおかずが並び、みんな大喜び!



土をじっくりこねます。土作りが大事なんです。土をこねて、4種類の土を混ぜて、おこねます。



こんな感じかしら。家族で参加の方も、それぞれ楽しい山の思い出をさむ玉に封じ込めました。



目取後にみんながスイカを食べて、福田さんをはじめスタッフの方々に「おれまきい」の時に現地解散。盛りだくさんの1日でした。



「緑豊かな武蔵野市の「まちなみ」と市民の森の「山の緑」とそれぞれの役割とつながりを実感できる「木林の市民講座」ぜひ参加して、山の楽しさを味わって、大切さを味わっていただきます!」